

平成23年度第3回佐賀県後期高齢者医療広域連合運営懇話会会議概要

- 1 日時：平成24年1月30日（月）16:00～17:34
- 2 場所：佐賀市大和支所 第3会議室
- 3 出席者：倉田会長・吉岡委員・松永委員・横須賀委員・内田委員
今泉委員・島内委員・江口委員・貞松委員
- 4 事務局：馬場事務局長・内田副事務局長・古川業務課長

5 意見及び質疑応答要旨

平成24・25年度保険料率改定について

【委員】保険料を下げるために取り崩しをする佐賀県財政安定化基金には、どれぐらいの額があるのですか。

【事務局】平成20年の制度施行時から医療給付費の0.06%ずつを毎年積み立てており、平成25年度末で基金の総額は約11億5千万円になります。

【委員】まだ決定しているところではありませんが、現在の情報として佐賀県の新保険料は全国でどれぐらいの順位となっているのですか。

【事務局】平成24年1月25日付けの資料によれば、軽減適用後の全国平均の一人当たりの保険料の上昇率は5.32%で、佐賀県は5.36%となっています。全国での順位は、前回平成22・23年度が22番目で、今回の平成24・25年度も同様に22番目ぐらいになるようです。

【委員】医療費は年々上昇しており、その中で高額なレセプト1%が医療費総額の25%を占めている状況があるが、医療費を縮減するため、単に入院日数が多いので長期入院を止めて在宅医療に替えるとか、終末期医療に費用が多く掛かっているとか、そのようなことを議論しても医者と患者がお互いに協力し合って日本の医療費を節減す

るようなことを考え合わないと、何ら解決策は見出せないように思います。

【事務局】今回は、佐賀県の保険料上昇の要因を分析して説明しましたが、医者と患者が向き合う中ではいろいろなケースがあると思っています。

【委員】健康診査の受診率が伸び悩んでいます。国は国民にかかりつけ病院を作ってそこで健康管理をするよう推進しているのに、そこでの検査結果を活用せずに重複して検査を実施するようなやり方では、受診率は伸びないのではないのでしょうか。

【委員】佐賀市ではヘルスサポート事業ということで、病院にかかっている方は病院で治療中の検査に併せて健康診査を受けることができるような取組を始められて、県下9市町に広がっています。

【委員】保険料率改定を説明する中に医療費抑制の努力や施策を入れてはどうでしょうか。

【事務局】保険料を下げるための医療費適正化の施策としてレセプト点検や医療費通知、そして来年度から重複・頻回受診者訪問指導に取り組みます。保健事業としては、健康診査、そして来年度から人間ドック助成もいくつかの市町で実施される予定です。保険料の収納率向上のための取組としては、市町と協同で収納対策の研修を実施しています。

また、高齢者になる前の40歳代や50歳のときに健康に気を付けて重篤な病状になるのを防ぐ予防医療の取組が、現在推進されています。

【委員】日本の医療保険制度は、高齢者に対して手厚くともいい制度だと思っていますが、この保険適用外の高額な薬があるというのも事実なのではないのでしょうか。

【委員】日本の制度からすると、現実的に保険適用外の薬はほとんどありません。原則としては、ほとんどが保険適用です。

新薬を創るときの研究費を特許期間で回収しようとするので、ジェネリック医薬品が出る前の薬というのは高額になるところですが、確かに日本は薬が高額だと思います。

【委員】医療費通知によって自分で負担している分とほかで負担してもらっている分がわかるので、とても良いと思いますし、これだけお金がかかっているのであまりむやみに病院にかからないように健康でいようという気持ちにもなります。

【委員】医療費は高いとよく聞きますが、医療費はどのように審査されているのでしょうか。

【委員】診療は、医師が自由裁量でしていると思われるかもしれませんが、国の医科点数表というものががんじがらめに決められていて、医学的に薬の薬理作用から考えて使用しても、国の基準どおりになっていないと審査支払機関で全部カットされます。

【委員】安易に病院を受診する方が多いと思います。私の考えでは、医者のお世話にならない生活習慣予防を日ごろから行って健康を助長することが大事であり、行政ももっとPRするべきだと思います。そうすれば、一人当たりの医療費の抑制にもつながります。

【委員】佐賀県の協会けんぽの保険料率が全国一の10.16%という算定になりました。今後、保健事業を推進する中で健康診査については、事業主健診の結果を事業主から提供してもらって健診受診率を上げていきたいと検討しています。

【委員】佐賀県国民健康保険団体連合会では、各市町が実施する健康診査・特定健診において糖尿病の早期発見・予防により人工透析に至らないような取組を支援していきます。

以上